

24万部突破!

第55回 二十五三昧会

『定年後』の著者、楠木新氏が講演! (中公新書) 40代~50代の方にぜひ!

平成30年(2018)

3月21日 水祝

(春分の日・彼岸の中日)

どなたでも参加自由、無料

講演会 16:00~17:30 / 交流会 17:45~19:30 (本堂)

講演会



くすのき あらた
講師: 楠木 新氏

◆略歴

1979年、京都大学法学部卒業後、生命保険会社に入社。人事・労務関係をはじめ総合企画、支社長などを経験。会社に勤務のかたわら、「働く意味」「個人と組織」をテーマに取材を続け、執筆、大学の非常勤講師、講演などに取り組む。朝日新聞be(土曜版)キャリア欄で「こころの定年」を1年余り連載。2015年3月に定年退職。その後も引き続き幅広く活躍中。

良い定年後を迎えたい方は現役の50歳ごろから準備を始めないと間に合わないそうで、聞いていただきたいのは特に40代~50代の方々です。

「いい顔」で死ねる人はどこが違うのか?

定年後の最大の問題を楠木さんは「孤独」と喝破する。確かに「孤独」な「定年後」を過ごされている男性は多い。楠木さんは47歳の時に体調を崩し長期休職された。その時、「自分がいかに会社にぶら下がっていたかを痛感」し、「このままでは退職後は大変なことになるだろうという予感」があり、イキイキとした定年退職者への取材本をむさぼるように読む。

会社復帰後、50歳からの生き方のヒントを求めて、定年退職した先輩に話を聞き始めた。50歳から執筆活動に取り組み、会社員との2足のわらじを履き、定年退職後も著述関係の仕事に携わる。

定年後の目標は「いい顔」で過ごすこと。そうすれば息を引き取る時も「いい顔」であるに違いないという。その秘訣をお聞きする。

*彼岸の中日ですので大変な混雑が予想されます。できる限り、お車でのご来山はご遠慮ください。

檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、お気軽にご参加ください。

二十五三昧会(にじゅうござんまいえ)とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、ゆるやかな人的交流の互助的な共同体です。入会費や制限など一切ありません、詳しくはお寺までご連絡を。(平日10時~16時)

参加無料
会員募集中

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203